

## KV-202 卓上型真空紫外分光光度計



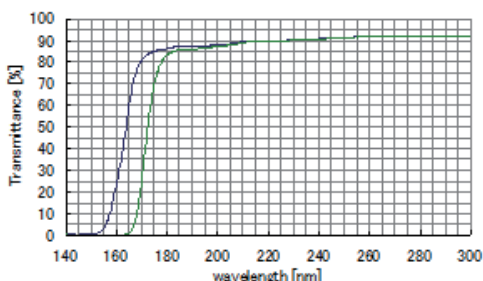
KV-202 卓上型真空紫外分光光度計は、弊社独自の窒素パージタイプの分光器 (KV-200) を使用することにより従来の真空対応タイプに比べコンパクト・高分解・高安定性を実現しました。

紫外線を放射する重水素ランプからの光は、集光系を経て分光器に入射され、回折格子で分光され、単色光が取り出されます。取り出された単色光は2光路に分離し、一方は光源の変化を補整するモニター用として検出し、もう一方は試料に照射するセミダブルビーム方式を採用し、高安定な透過率スペクトル測定が可能です。

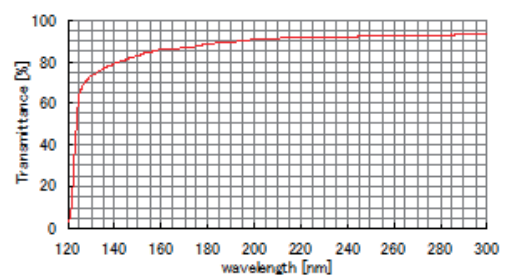
- 波長 120 ~ 300nm(真空紫外領域) の透過スペクトル測定
- 窒素パージ型分光器採用で、高分解&高安定を実現
- 特殊フィルムや特殊基板などの評価に最適



## 測定データ例

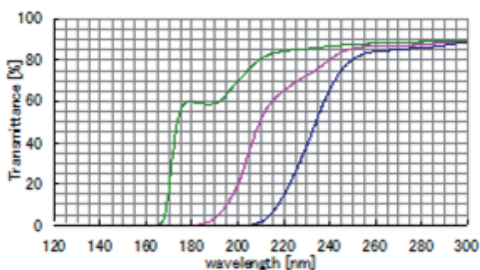
●厚みのある合成石英 (SiO<sub>2</sub>) の透過率●

厚みが1mmと40mmの合成石英 (SiO<sub>2</sub>) を測定しました。厚みの違いによる透過率の違いが弊社独自の光学系により正確に測定できています。

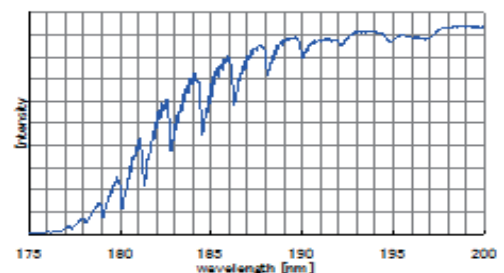
●フッ化カルシウム (CaF<sub>2</sub>) の透過率●

光学結晶やレジストの評価に使用するフッ化カルシウム (CaF<sub>2</sub>) を測定しました。F2 レーザや ArF レーザの波長領域を再現性良く測定できています。

## ●食品包装用フィルムの透過率●



厚さ 10μm 程のフィルムを測定しました。ポリマーなどの薄いサンプルも容易に測定できます。汎用の紫外可視分光光度計では測定が困難な真空紫外領域から紫外領域まで連続して測定ができます。

●空気 (O<sub>2</sub>) の高分解測定●

空気を分解 0.1 nm で測定しました。空気に含まれる酸素の Schumann-Runge 吸収帯にある細かい構造もはっきりと測定できています。



## 仕様

光源	重水素ランプ 30W
測定波長領域	120 ~ 300nm
測定再現性	±0.3%T *1
波長再現性	±0.1nm
測定試料の大きさ	最小 3×3mm ~ 最大 12×12mm
測定試料の厚み	最小 1mm ~ 最大 3mm *2
測定方式	セミダブルビーム方式
検出器	サリチル酸ソーダ窓付光電子増倍管
表示の設定	スケール（縦軸・横軸）、トレース（カーソル移動）
	スペクトルの重ね書き、スペクトル表示の消去
データ処理	スムージング、四則演算

\*1 波長 120 ~ 300nm 掃引速度 60nm/min 100% 平坦性として

\*2 別途打ち合わせにより形状・測定個数等仕様変更可能

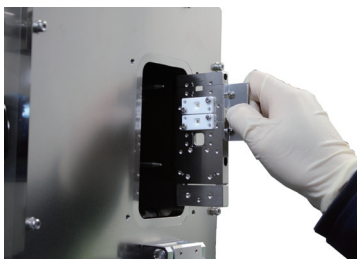


## 標準構成

- 重水素ランプ 30W
- 重水素ランプ電源
- KV-200 窒素パージ専用分光器
- 試料室（窒素パージ&真空両対応）
- 透過測定試料ホルダ
- サリチル酸ソーダ窓付光電子増倍管
- 光電子増倍管高圧電源
- コントローラ（波長駆動・フィルタ切換）
- ソフトウェア
- 制御コンピュータ
- 取扱説明書

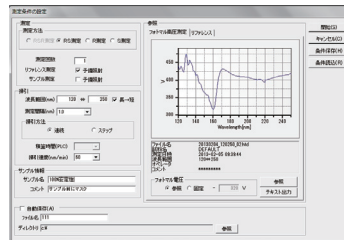


## 透過測定試料ホルダ

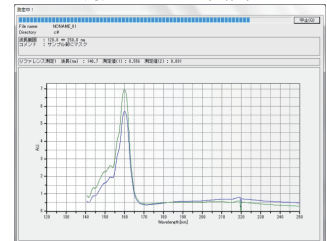


## ソフトウェア

測定設定条件画面



測定データ画面



## オプション

- 真空ポンプ
- 各種試料ホルダ
- 各種回折格子
- サリチル酸ソーダ窓板



## 外形寸法

- ・本体 : 約 W800×D630×H500mm
- ・重量 : 約 70Kg
- \*コントローラ・制御コンピュータ等を除く

●記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります。

< KV-202-2201028N >

# 分光計器株式会社

<http://www.bunkoukeiki.co.jp/>

本社・工場 〒192-0033 東京都八王子市高倉町 4-8

TEL 042(646)4123 FAX 042(644)3881

東日本営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-23-1

TEL 03(3837)1021 FAX 03(3837)1023

西日本営業所 〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新 3-24-5

TEL 06(6323)4502 FAX 06(6323)4902

## ●お問い合わせは